

令和8年 白河 提灯まつり

9月19日(土)～21日(祝)



【提灯行列の出発順番のご案内】先頭の先達(せんだつ)から順番に出発し、最後の宮本(みやもと)出発までおよそ2時間を要します。

19日(一日目)・21日(三日目)
 1 先達(愛宕町)、2 大工町、3 新蔵町、4 本町、5 南町、6 年貢町、7 馬町、8 中町、9 横町・田町、10 大町
 11 金屋町、12 昭和町、13 向寺、14 道場町、15 丸の内・会津町、16 登町、17 旭町、18 中田、19 宮本(桜町)
 ※鹿嶋神社の神輿は、横町・田町の2町が担ぎます。

20日(二日目)
 1 先達(愛宕町)、2 大工町、3 新蔵町、4 本町、5 南町、6 年貢町、7 馬町、8 中町、9 大町、10 横町・田町
 11 金屋町、12 昭和町、13 向寺、14 道場町、15 丸の内・会津町、16 登町、17 旭町、18 中田、19 宮本(桜町)
 ※鹿嶋神社の神輿は、大町が担ぎます。

～白河提灯まつりのいわれ～

日本三大提灯まつり(白河・弥彦・一色)の一つに数えられている白河提灯まつりは、白河地方の総鎮守として、古くから人々の尊崇を集めてきた鹿嶋神社の例祭として、四世紀に渡り隆盛を極め、白河の人々の精神文化の歴史、いわば心のよりどころとして、伝えられてきました。現在行われている神輿の町内渡御・提灯行列・屋台・山車の引き廻し等の祭りの形態は、徳川家綱時代、明暦3年(1657年)に藩主本多能登守忠義が神輿を寄進したことにより成立し、祭礼の型も幕府の許可を得て、別名【儀式まつり】といわれる程武家社会の格式を導入した独特の祭りで、伝統の文化として白河の地に受け継がれています。現在は、参加町も21町と当初に倍する数となり老若男女、市民をあげての祭りに発展しました。なお、行列を最初から最後まで観る所要時間は、約2時間です。



【21日 小峰城】
3日目出発
 先達出発 午後5時
 神社神輿出発 午後6時
 宮本出発 午後7時

【20日 セブンイレブン前】
 先達通過 午後5時50分
 神社神輿通過 午後6時40分
 宮本通過 午後7時50分

【20日 九番町】**2日目出発**
 先達出発 午後5時
 神社神輿出発 午後5時50分
 宮本出発 午後7時

【20日 白河駅前交差点】
 先達通過 午後6時20分
 神社神輿通過 午後7時10分
 宮本通過 午後8時20分

【四辻交差点】
 20日 先達通過 午後6時40分
 神社神輿通過 午後7時30分
 宮本通過 午後8時40分
 21日 先達通過 午後5時50分
 神社神輿通過 午後6時50分
 宮本通過 午後7時50分

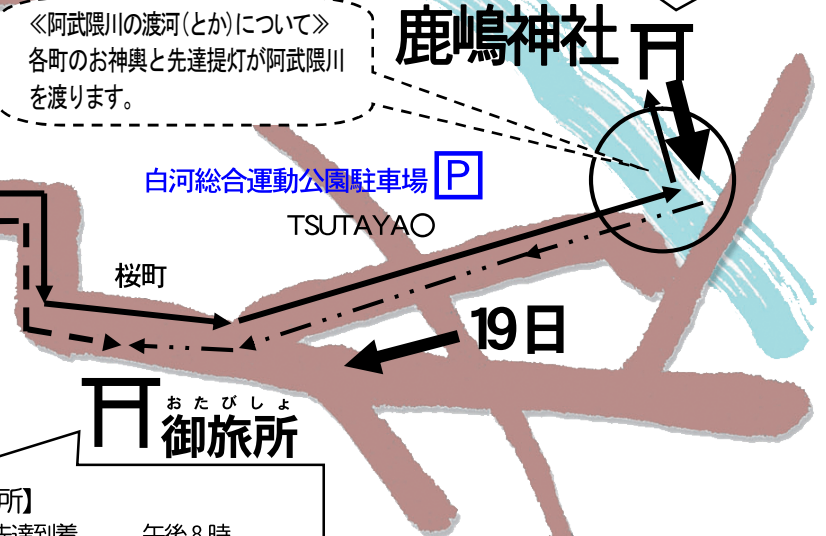


【駐車場について】
 ※鹿嶋神社駐車場は、ご利用になれません。
 ※白河総合運動公園駐車場、コミネス駐車場をご利用ください。
 なお、運動公園駐車場は、行列がすべて通過するまで車の出し入れはできません。

【御旅所】
 19日 先達到着 午後8時
 神社神輿到着 午後8時50分
 宮本到着 午後10時
 20日 先達到着 午後7時
 神社神輿到着 午後7時50分
 宮本到着 午後9時

【鹿嶋神社】**1日目出発・3日目到着**
 19日 先達出発 午後6時30分
 神社神輿出発 午後7時20分
 宮本出発 午後8時30分
 21日 先達到着 午後7時
 神社神輿到着 午後8時
 宮本到着 午後9時

【見所】
 19日 神社神輿の出発 午後7時20分
 たいこ橋渡り 午後6時半～8時30分頃
 全町渡河(とか) 午後6時半～8時30分頃
 21日 全町渡河(とか) 午後7時頃～9時頃
 たいこ橋渡り 午後7時頃～9時頃
 神社神輿の到着 午後8時5分
 参加全町お打ち 午後9時45分頃



--- 19日行列経路(鹿嶋神社～御旅所)
 - - - 20日行列経路(九番町～御旅所)
 ——— 21日行列経路(小峰城～鹿嶋神社)

※○印は、見所です ※ 時間は予定時刻です